

府中市商店街振興プラン（令和4年度～令和11年度）の新旧対照表

頁番号	旧	新
2	「(3)パブリックコメント手続の実施」	パブコメは、素案を答申後、市が行うものなので、現状で協議会が提出する素案の中に入れる必要はないので削除。
4	図表 2 人口構成の比較 立川市、調布市、国分寺市と比較	立川市、武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、国分寺市、多摩市と比較
4	「(2)府中市の小売・サービス業の状況」の記述内容	上記比較対象自治体を増やしたことで、競争相手として立川市は規模が大きいことを踏まえて、分析内容の記述内容を変更。
5	図表 3 産業分類別事業所数（小売業・サービス業関連抜粋）および年間商品販売額（小売業） 立川市、調布市、国分寺市と比較	立川市、武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、国分寺市、多摩市と比較
34	課題 多様な消費者が買い物しやすい環境づくり 産業分野、行政分野ともに情報発信や手続き等のデジタル化が推進されており、キャッシュレス決済の普及はますます広がると考えられることから、市民と個店の双方にキャッシュレス決済を促す支援が求められます。	（キャッシュレス決済の手数料有料化の動向を追記） 産業分野、行政分野ともに情報発信や手続き等のデジタル化が推進されており、キャッシュレス決済の普及はますます広がると考えられます。一方、キャッシュレス決済の手数料は個店にとって負担であり、最近では手数料の無料化に踏み切る民間企業があらわれていることから、有料化の動向を注視しながら市民と個店の双方にキャッシュレス決済を促す支援が求められます。
35	基本理念 一方、同期間中においては、ICTの技術革新や増加するインバウンド需要を受けて、キャッシュレス決済やインターネットショッピングの普及、Wi-Fi環境の充実、店舗等での多言語化等、多様な消費者への対応が求められつつあります。	（SDGsに関連した記述を追記） 一方、同期間中においては、ICTの技術革新や増加するインバウンド需要、SDGsの関心の高まりを受けて、キャッシュレス決済やインターネットショッピングの普及、Wi-Fi環境の充実、店舗等での多言語化、環境への配慮等、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらない多様な消費者への対応と持続可能な社会への移行が求められつつあります。 ……（下から3行目）… …目指す姿は普遍的な目標として継承しつつ、サステナビリティに配慮した責任ある事業活動を行うことにより、SDGs（持続可能な社会）の実現に貢献することと共に、地域とのつながりや連携により賑わいを創出し、活気あふれる商店街づくりを目指します。
38	施策体系 基本方針・・・1、2、3 施策・・・(1)、(2)、(3) 事業・・・(1-(1)-1)、(1-(1)-2)、(1-(1)-3)	（事業番号で（）が重なるため変更） 基本方針・・・、 施策・・・1、2、3 事業・・・、
40～	実施主体 関連する主体は複数掲載	（わかりやすくするため実施主体を1つに限定） 実施主体は1つのみ掲載（p40以降同様）
41	JAPANブランド育成支援事業 販路開拓コーディネート事業 ユニバーサルデザイン啓発事業	参考事業として掲載
50	ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用可能なように利用者本位の考え方に立って快適な環境をデザインすることです。市内商店街にユニバーサルデザインの意識を啓発する取組を実施します。	（ユニバーサルデザインという言葉が誤解を生みやすいため） 商店街の利用しやすさ向上支援事業 ユニバーサルデザイン*の意識の啓発に努め、特に、多様な人々が利用しやすいように市内商店街の様々な案内や商品の価格表示などに配慮した取組を支援します。
58～	参考資料	それぞれの参考資料を追加